

# もしもに備えて

## 男女共同参画の視点から防災を考えよう

問合せ 毛呂山町男女共同参画推進会議事務局（役場総務課内）

☎049 (295) 2112 ㊟312

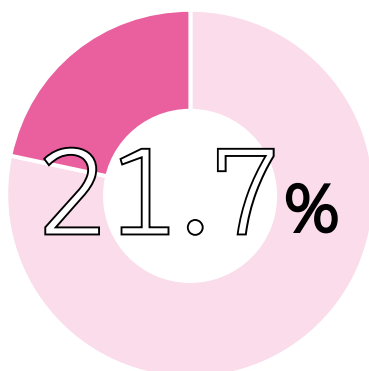
地震や台風などの災害時、その規模だけではなく、私たちの社会のあり方が被害の大きさを変わると言われます。過去に発生した災害では、避難所などで「男性と女性とで異なるニーズに応じた対応ができなかった」という声が相次ぎました。

女性の経験や意見・気配りを取り入れることで、子育てや介護をする人が必要なことを理解しやすくなり、助けが必要な人に配慮した取り組みができます。

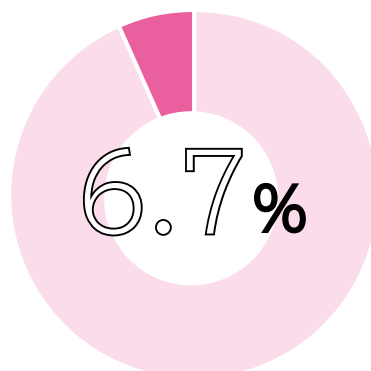
大切な命を守り、被害を少しでも減らすために、平常時から男女共同参画の視点で、今できることを考えましょう。

### 女性が占める割合

（平成28年4月1日現在）



毛呂山町の区長  
女性 15人 / 男性 54人



毛呂山町防災会議委員  
女性 2人 / 男性 28人

どうして防災に女性の視点が必要なのでしょうか？

これまでの災害では、地域の責任者（リーダー）に女性が少なかったため、男女のニーズの違いに応じた配慮がされにくいことが問

題になりました。避難所生活や復旧・復興では、地域の支え合いが必要不可欠です。実際のトラブルから、ポイントを探ります。

**男** 女共同参画とは、「男だから」、「女だから」という考えにとらわれず、男女がお互いに認め合い、社会のあらゆる分野における活動に、ともに参加し意見を取り入れ、ともに責任を担うことをいいます。

毛呂山町では、平成28年3月に『第三次もろやま男女共同参画プラン』を策定し、『防災にかかわらず誰もが自分らしく生きていけるまちづくりを目指しています。』

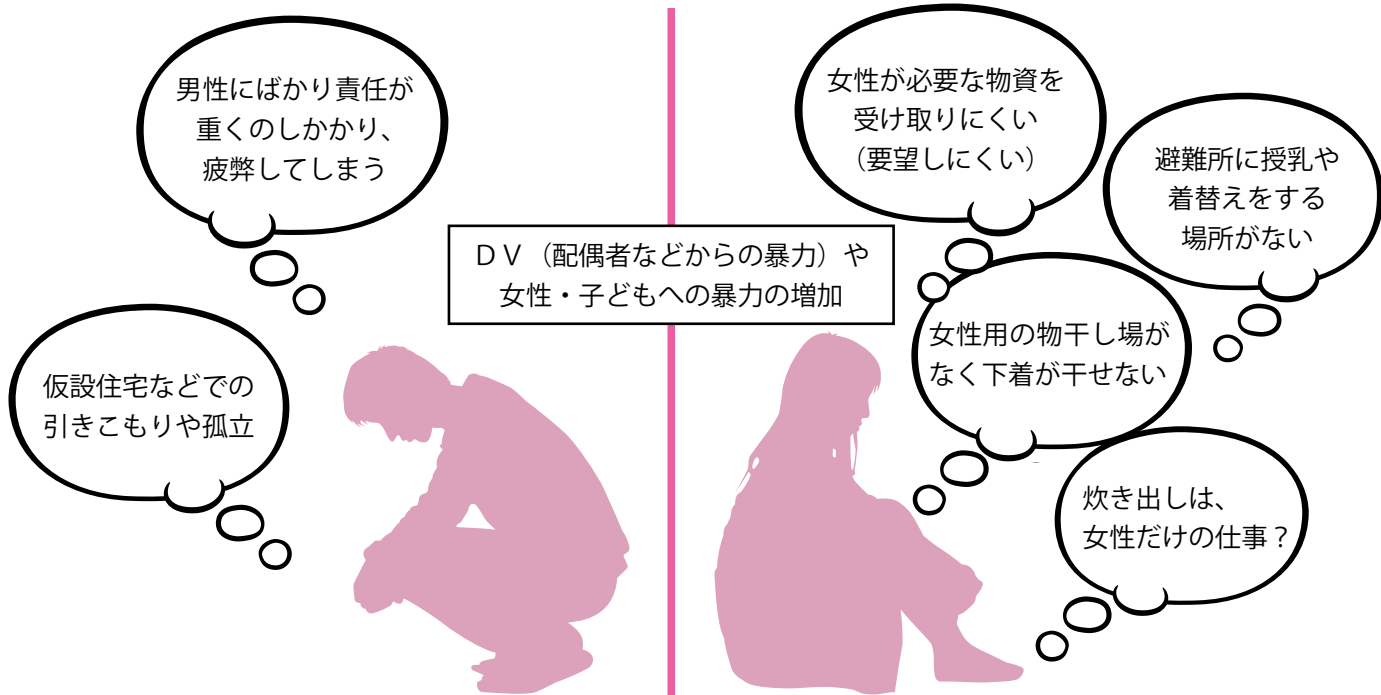
平成28年度、毛呂山町男女共同参画推進会議では、『防災における男女共同参画』をテーマに取り組みました。

Q. 方針・決定の場に女性の参画を更に促進するために『自治会など地域団体の長や役員に、女性を積極的に登用する』ことは、どの程度重要だと思いますか？

A. とても重要、ある程度重要 79.3%  
あまり重要ではない 14.6%

毛呂山町男女共同参画に関する住民意識調査より

## 避難所生活で実際に起こった、男女の違いによるトラブル



### このようなトラブルを避けるには

避難所生活でのニーズは、身体に関わるが多いため、女性のニーズは女性に対してのほうが話しやすく、かつ正確に伝わります。

性別によって役割を押し付けることなく、みんながともに活動できるようにしましょう。ふだんから、女性と男性それぞれの地域の責任者（リーダー的役割）を置くことが大切です。

## INTERVIEW



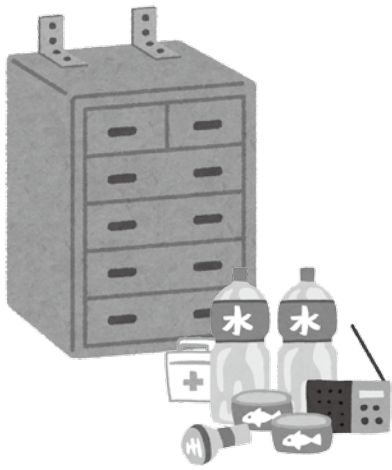
たかはし すみ  
総庭団地区長 高橋 幸美さん

平成 22 年度から区長を務める

意思決定の場には、女性と男性の両方が居て欲しいと思います。男性だけで決められたことに対して、女性から見ると「えっ？」と思うことがあります。男性に任せきりにするのではなく、女性も少しずつ良いので地域に出てきて欲しいです。

女性は細かい所にまで目が届き、男性は広い視野で見ることにかけているのではないのでしょうか。また、女性がトップだと、男性が支えてくれるという、ずるいような、良いようなメリットを感じることもあります。

今の若い人は、男性でも女性の目線で見ることができるようが増えていきますので、もっと若い人に積極的に地域の活動に出てきて欲しいです。



# 今、私たちにできる『防災』

地域の意思決定の場に、女性も男性も参加しましょう。

地域のことや災害対策を男性だけに任せるのではなく、一人ひとりが自分の事として受け止められるよう、女性の意識を高めることが必要です。平常時にできていなければ、災害時にもできません。

## 家庭の防災

### みんなが『防災家族』

自宅を安全な場所にする

家具の転倒を防ぎ、安全スペース・避難経路を確保しましょう。

子どもにも防災教育を

電気や水道が使えなくても生活できる方法を教えましょう。

家族が離ればなれになったら

『避難場所・ルート』、『連絡方法』、『子どもの迎え』などを、いつ・だれが・どうするか、家族で確認しておきましょう。

## 積極的に 地域とつながる

### 『あいさつ』から始まる

災害発生時には、近所での助け合いが力となります。日ごろから地域に関心を持ち、お互いに協力できる関係を築いておきましょう。まずは、あいさつからはじめる防災を意識しましょう。

## INTERVIEW

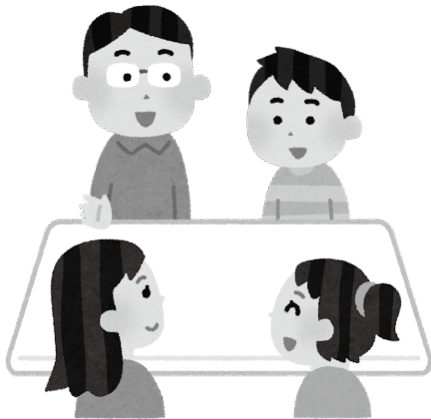
防災には、まずは『自  
助』。文字通り、自分  
の身、そして自分の家  
族を守ることが一番大  
切です。いざ災害が起  
こってから「あの時あ  
あしていれば……」と  
後悔しないために、住  
んでいる環境の見直しや、今  
できる備えを少しずつ始める  
ことが、被害を減らすことに  
つながります。

以前、ある地域の『避難所  
HUG（避難所運営のシミュ  
レーションゲーム）』に参加  
しました。その地区では、参  
加者が全員男性。ゲームの結  
果「女性専用トイレや更衣場  
所・授乳場所の確保が必要だ  
と気づかなかった」「認知症・  
インフルエンザ・骨折・妊娠  
中の人を『傷病者』として、  
まとめて同屋に入れようとし  
た」などの課題が見つかりま  
した。訓練で良かったと思っ  
ましたし、避難所HUGや訓



有山志のぶさん  
箕和田在佳  
平成 27 年に防災士の資格を取得

練には、女性と男性両方の参  
加が必要だと感じました。  
また、災害現場に必ず力の  
有る男性が居るとは限りませ  
ん。特別な力を必要としない  
救助や搬出の方法をみんなが  
身につけるなど、いざという  
時、地域に住む人が年齢や性  
別に関わらず助け合える地域  
づくりが理想だと思います。  
私は、女性消防隊にも所属  
していますが、入団のきっかけは  
勧誘ですし、決して『特別  
な女性』ではありません。  
もっと多くの人に、性別にと  
らわれず、地域づくりや防災  
の場に参加して頂きたいと思  
います。



## 我が家に必要な備えを考える

### 避難を少しでも『快適』に

乳幼児がいる、アレルギーがある、要介護者がいる……それぞれの家庭によって、事情はさまざまです。

最低限の防災グッズにプラスして、女性の視点から我が家に必要な備えを考えてみましょう。

### 基本の備蓄品・非常持ち出し品

- |                                     |  |                                     |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水（最低3日分） | <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん               | <input type="checkbox"/> 現金（小銭）     |
| <input type="checkbox"/> 食品（最低3日分）  | <input type="checkbox"/> マスク                       | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・予備電池 |
| <input type="checkbox"/> 下着・衣類      | <input type="checkbox"/> 軍手                        | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ    |
| <input type="checkbox"/> トイレットペーパー  | <input type="checkbox"/> 懐中電灯                      | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ  |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー  | <input type="checkbox"/> 毛布・タオル                    | <input type="checkbox"/> 洗面用具       |
| <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく   | <input type="checkbox"/> 貴重品（預金通帳・印鑑・健康保険証など）      |                                     |
| <input type="checkbox"/> カセットこんろ    | <input type="checkbox"/> 救急用品（ばんそうこう・包帯・消毒液・常備薬など） |                                     |

### 皆さんの家には、どんな人が暮らしていますか

  
高齢者

- 服用中の薬
- お薬手帳
- 紙おむつ・尿取りパッド
- めがね・補聴器
- 入れ歯
- 栄養補助ゼリーなど



  
女性

- 生理用ナプキン
- サニタリーショーツ
- おりものシート
- 携帯用ビデ
- カップ付タンクトップ
- リップクリーム
- ハンドクリーム
- 化粧水
- 防犯ブザー



  
乳幼児

- 母子手帳のコピー
- 紙おむつ
- おしりふき
- ミルク・哺乳びん・消毒液
- 離乳食
- アレルギー対応食
- 薬・冷却ジェルシート
- おもちゃ・お菓子
- 抱っこひも
- 授乳ケープ
- さらし



毛呂山町男女共同参画推進会議  
いわかみようこ  
会長 岩上 陽子さん

町においても、計画的に災害備蓄品をそろえていますが、一人ひとりがふだんから『みんながともに支え合う・男女共同参画の視点』で考え、先延ばしにすることなく、今から『私に必要な特別な備え』をしましょう。